

副理事長所信

役 職 : 副理事長

氏 名 : 鈴木 聖享

2020年に端を発した新型コロナウイルスのパンデミックは人々の生活のあり方を一変させ、これまでの生き方、生活、仕事を大きく変えることになりました。私たち青年会議所の活動も例外ではなく、活動の方法や存在意義についても再考を余儀なくされ、この2年間は手探りの状態で活動を繋いで参りました。しかしながら、青年会議所として活動の灯を絶やすことはなく、青年会議所の信条に従い、トライ&エラーを繰り返しながら新しい青年会議所のあり方を模索し続け、今日に至っております。

時代は間違いなく急速に変化しました。青年会議所のあり方についても再考する必要に迫られ、時代に合わせた活動が求められております。歴史を継承しながらもニューノーマルへの変身を遂げなければなりません。これまでのあり方を変えることは抵抗もあり、難しいことではありますが、それでも青年会議所の存在意義を忘れず、活動の方法はニューノーマルとしていく必要があります。

青年会議所としての「あり方」はこれまでと決して変わらないと考えますが、「やり方」は変革が必要です。

青年会議所は過渡期を迎えています。

変えるべき部分と決して変えてはならないこと。この見極めが本年度は重要であると考えます。これまで先輩諸兄が紡いでこられた精神は次の世代へ継承されるべき大切な精神です。一方で活動のやり方については変化、失敗を恐れることなく、柔軟に且つ大胆に変えていくべきです。

また会員拡大についても本年度は経験豊富なメンバーが数多くご卒業され、会員の質、量ともに大きな転換期を迎えております。私自信も本年度で卒業を迎える身として、これまで多くの学びの機会を与えて下さった東海青年会議所の更なる発展を願ってやみません。大好きな東海青年会議所が未来永劫発展し続けて欲しいと願っており、一人でも多くの青年経済人が青年会議所というものを経験して欲しいと心の底から願っております。会員拡大は一朝一夕で成せるものではありませんが、だからこそメンバー全員で会員拡大に取り組んでいく所存です。

最後になりますが、副理事長という大役に任じて下さった河合崇晴理事長に心からの感謝を申し上げます。これまでの経験を次の世代へしっかりと継承し、後進たちへ道を示せるよう一年間邁進して参ります。河合崇晴理事長の所信並びに基本方針に基づいた蟹江廉士事務局長の想いをかたちにする事業の責任者として全力でサポートして参ります。1年間どうぞよろしくお願い致します。